

2017年9月20日

住友理工、「第44回 国際福祉機器展 H.C.R.2017」に出展 ～利用者の快適な生活と介護者の負担軽減に貢献する製品を展示～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、9月27日から東京ビッグサイトで開催される「第44回 国際福祉機器展 H.C.R.2017」に出展します。



急速な高齢化の進展や、介護職員の不足や業務負担の増加が社会問題になる中、当社は、介護を受ける方の QOL（クオリティ・オブ・ライフ＝生活の質）の向上、および介護者の負担軽減に寄与する製品を開発・販売しています。

今回は、当社独自開発の柔軟な導電性ゴムでできた体圧検知センサー「スマートラバー（SR）センサ」技術を応用した介護製品を展示。体圧を自動で分散し、床ずれ防止・介護の負担軽減に貢献する床ずれ防止マットレス「SR アクティブマットレス 体圧ブンさん」と、体圧分布やバランスを可視化し、体位交換やクッションの選定、リハビリ支援と様々なシーンで活用いただいているシートセンサ「SR ソフトビジョン」シリーズを紹介します。

社会課題の解決に挑戦する住友理工の健康介護事業。安全・安心・快適な生活の実現を目指す当社の取り組み・製品を是非ご体感ください。

<展示品紹介>

■SR アクティブマットレス 体圧ブンさん

九州大学との共同研究を通じて開発された製品で、2017年3月に販売を開始しました。本製品はSRセンサで利用者の体圧を計測し、圧の高い箇所を検知。内蔵のエアセルがリアルタイムにピンポイントで除圧し、それぞれの体格や寝姿勢に応じた「オーダーメイド」の体圧分散を自動で行います。また、24時間365日の連続使用が可能で、3つのモードで利用者を見守ります。さらに本製品は、この度介護保険における福祉用具貸与の対象品となりました。利用者は要介護度に応じて、本製品のレンタルサービスを受けられるようになります。



■SR ソフトビジョン

利用者の体圧分布やバランスをPCなどの端末に表示できるSRセンサの技術を使った体圧分布測定器です。ゴムでできたセンサーを採用しているため柔軟で伸縮性があります。またシート部分も柔らかい素材で構成しているため利用者に違和感を感じさせにくい仕様です。

タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末で使用可能な無線版、頭から足先まで全身の圧力分布が計測できる全身版など、使用シーンに合わせた製品ラインアップをご用意しています。



SRソフトビジョン (無線版)

<開催概要>

展示会名	第44回 国際福祉機器展 H.C.R.2017
会期	9月27～29日
会場	東京ビッグサイト
ブースエリア	東4ホール 小間番号：4-03-10

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <http://www.sumitomoriko.co.jp/>